

都市再生整備計画 事後評価シート

小俣町本町地区

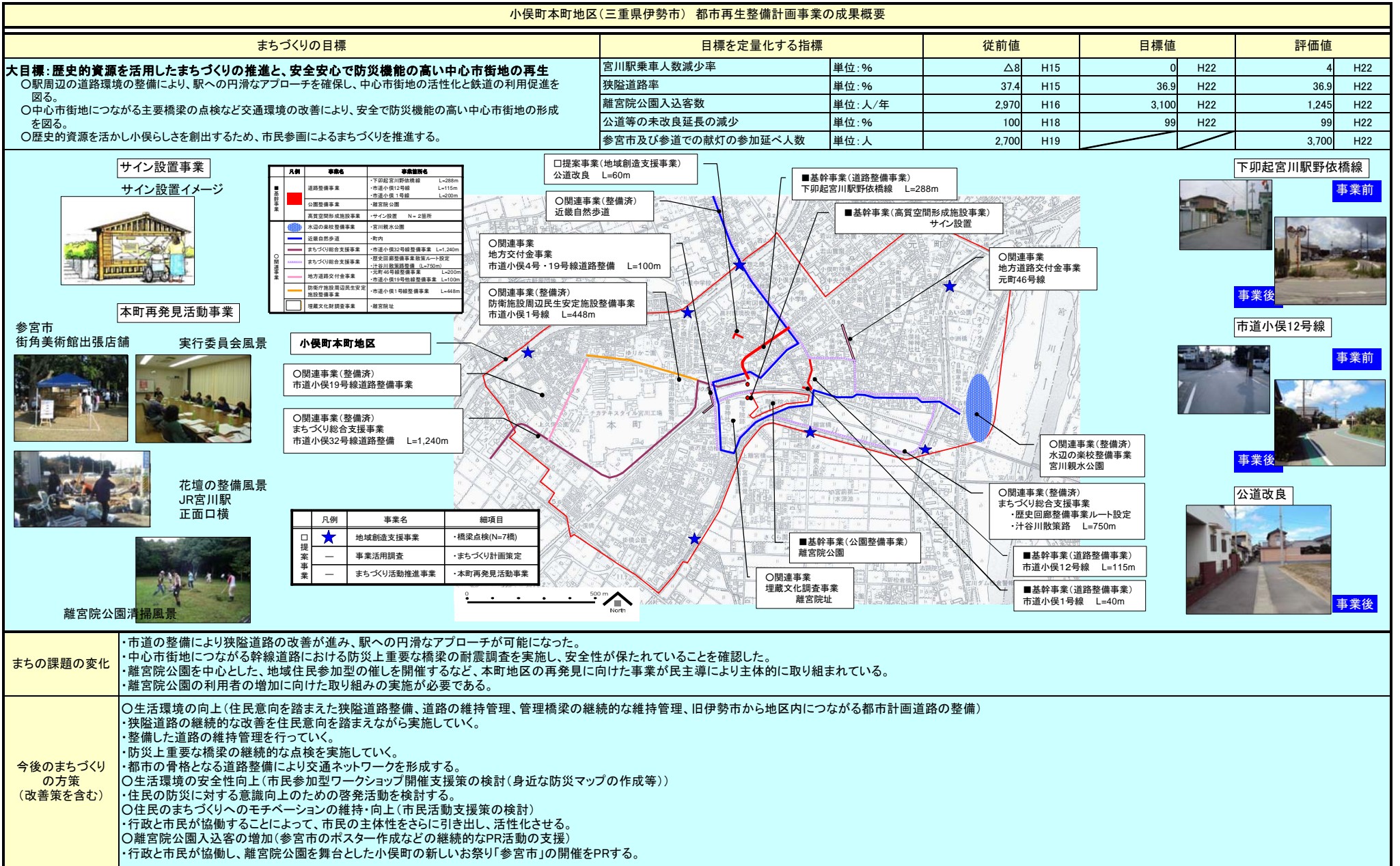
平成23年 3月

三重県伊勢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	三重県		市町村名	伊勢市		地区名	小俣町本町地区		面積	164 ha			
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	1,068 百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(下卯起宮川駅野依橋線、市道小俣12号線、市道小俣1号線)、高質空間形成施設(駅前サイン整備)									
	当初計画から削除した事業		事業名										
			提案事業	地域創造支援事業(橋梁点検7橋)、事業活用調査(まちづくり計画策定)、まちづくり活動推進事業(本町再発見活動事業)									
	新たに追加した事業		削除/追加の理由										
基幹事業			高質空間形成施設(市道小俣4号線)										
交付期間の変更		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響											
		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	宮川駅乗車人数減少率	%	△8	H15	0	H22	2.5	4	○	あり	駅周辺の市道改良工事が完了(平成22年度)したこと、小俣町商工会を中心とした、離宮院公園や官舎神社参道等を活用した催しの実施などによる効果が発現し、目標達成につながったと考えられる。	平成24年6月
	指標2	狭隘道路率	%	37.4	H15	36.9	H22	37.2	36.9	○	あり		
	指標3	離宮院公園入込客数	人/年	2,970	H16	3,100	H22	—	1,245	△	あり	平成19年度から開催されてきた参宮市が今年度は他会場で行われることもあり、目標達成には至らなかったが、本町再発見活動事業を契機として、小俣町商工会を中心とした、離宮院公園や官舎神社参道等を活用した催しの実施などによる効果はあったと思われる。	平成23年4月
指標4	公道等の未改良延長の減少	%	100	H18	99	H22	—	99	○	あり			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
その他の数値指標1	参宮市及び参道での献灯の参加延べ人数	人	2,700	H19	/	/	—	3,700	/	/	まちづくり活動推進事業による住民主体の取組やPR活動の効果が発現し、イベント、参加者の増加につながった。H19-H21には、離宮院公園で開催されており、離宮院公園の整備が完了することで、次年度以降も参加者の増加が期待できる。	平成23年4月	
4) 定性的な効果発現状況	<p>・小俣町商工会が主催となり実施してきた“本町再発見活動事業”(平成19年-平成22年)は、平成21年までに計14回の実行委員会の会議を開き、事業の発案や運営、経過報告などを継続的に行っている。住民主体の“本町再発見活動”というまちづくり活動を通して、住民のまちづくりに対する意識が高まってきており、今後も持続的に官民協働のまちづくりを実施していくための基礎が構築された。</p> <p>・駅前の小俣1号線の整備により、駅前の敷地が広く確保できるようになったため、地元団体による朝市が開かれるようになったことが、駅周辺の賑わいの創出に貢献している。</p>												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング		①伊勢市勢統計要覧による宮川駅年間乗客数のモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた					●		①毎年度の本市の統計要覧により確認する。 ②今後も定期的に狭隘道路の改善状況を確認し、改善率の更なる向上を目指す。
			②事業実施済み延長の把握による狭隘道路率や道路未改良率のモニタリング			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス		・市民公募型まちづくり活動支援事業			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●		・平成22年度も継続的に実施するとともに、交付期間後も市民主体の取組が持続するよう、有効な方策を検討する。
・本町再発見活動事業により、市民公募型手法による、まちづくりへの主体的取組を支援し、小俣町商工会を中心とした地域住民参加型の活動を促進する環境を確立した			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要



<p>まちの課題の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市道の整備により狭隘道路の改善が進み、駅への円滑なアプローチが可能になった。 ・中心市街地につながる幹線道路における防災上重要な橋梁の耐震調査を実施し、安全性が保たれていることを確認した。 ・離宮院公園を中心とした、地域住民参加型の催しを開催するなど、本町地区の再発見に向けた事業が民主導により主体的に取り組まれている。 ・離宮院公園の利用者の増加に向けた取り組みの実施が必要である。
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生活環境の向上(住民意向を踏まえた狭隘道路整備、道路の維持管理、管理橋梁の継続的な維持管理、旧伊勢市から地区内につながる都市計画道路の整備) ・狭隘道路の継続的な改善を住民意向を踏まえながら実施していく。 ・整備した道路の維持管理を行っていく。 ・防災上重要な橋梁の継続的な点検を実施していく。 ・都市の骨格となる道路整備により交通ネットワークを形成する。 ○生活環境の安全性向上(市民参加型ワークショップ開催支援策の検討(身近な防災マップの作成等)) ・住民の防災に対する意識向上のための啓発活動を検討する。 ○住民のまちづくりへのモチベーションの維持・向上(市民活動支援策の検討) ・行政と市民が協働することによって、市民の主体性をさらに引き出し、活性化させる。 ○離宮院公園入込客の増加(参宮市のポスター作成などの継続的なPR活動の支援) ・行政と市民が協働し、離宮院公園を舞台とした小俣町の新しいお祭り「参宮市」の開催をPRする。